

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ブランド学	授業コード	E036951
担当教員名	小牧 渉	科目ナンバリングコード	E20303
配当学年	2年	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	教わろうではなく、考える癖を身につけてほしいです。		
受講心得	欠席を極力しないこと。遅刻はしないこと。学んだことを自分に置き換えて、理解、判断して興味を持つこと。		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	①「ブランド優位の戦略」デビッド・A・アーカ(ダイヤモンド社) ②「マーケティング・サイエンス入門」古川一郎、守口剛、阿部誠(有斐閣アルマ) ③「ブランド価値を高めるコンタクトポイント戦略」S.Mデビス、M.ダン(ダイヤモンド社)		
関連科目	マーケティング論、広告論、サービスマーケティング論		

授業の目的	ブランドに関する理論の基礎をマスターすること。企業のコミュニケーション活動で、ブランドのもつ意義が非常に大きくなっている。そもそも、ブランドとはどういうことなのか、高級ブランド、ブランド名…。ブランドは経営的にもマーケティング的にも重要な意味をもつ。最新の動向や具体的事例を学ぶことで、企業活動でブランドがいかに重要かを、肌で感じてもらおう。
授業の概要	ブランドが注目されるようになった背景、マーケティング・経営分野におけるブランドの意味、ブランドマーケティング戦略、コーポレートブランディング戦略、ブランド戦略としてのコンタクト・ポイント・マネジメントなどについて、事例を見ながら理解していく。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ブランド論の基礎①(日本のブランド) ブランドとはそもそも何かを考える前に、主要な日本のブランドに関して考察する。	配布資料・ビデオ
第2週：ブランド論の基礎②(海外のブランド) 海外の主要なブランドに関して考察する。	配布資料・ビデオ
第3週：ブランド論の基礎③ ブランドとはそもそも何か、一般的なブランド理解の内容、ブランドが注目されるようになった背景などを導入部分として学ぶ。	配布資料・ビデオ
第4週：ブランド論の基礎④ ブランドの価値について考察する。	配布資料・ビデオ
第5週：ブランド各論(最高級ブランドの考察) 万人に好かれる必要のないブランドとは。	配布資料・ビデオ
第6週：ブランド各論(ブランドの誕生) ブランドの無い時代から固有名詞のブランド製品へ。	配布資料・ビデオ
第7週：ブランド各論(OEMとPB) 他のブランドをつけて売るために作る。	配布資料・ビデオ
第8週：ブランド各論(Cool Japan) 日本ブランドとは。	配布資料・ビデオ
第9週：中間振り返り 第8週までの講義のサマリー、確認。	配布資料・ビデオ
第10週：ブランド各論(地方自治体というブランド) 第6週から第9週までの復習をやり、成果を確認するためにレポートを書いてもらいま	

第11週 ブランド分析 グループ演習①		
グループで選択したブランドの特色、長所、短所、将来性などを比較分析して発表。		配布資料・ビデオ
第12週 ブランド分析 グループ演習②		
グループで選択したブランドの特色、長所、短所、将来性などを比較分析して発表。		配布資料・ビデオ
第13週 ブランド各論(ロングセラーブランド)		
ロングセラーブランドの成功の背景、理由、将来を考える。		配布資料
第14週 ブランド各論(インナーブランディング)		
組織内部を束ねるためのインナーブランディングとは。		配布資料
第15週 まとめ		
第1週から第14週までの総まとめ。		配布資料
第16週 期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	ブランドの持つ意味、背景に興味、疑問を持つ。
【知識・理解】	ブランドの各種手法の基礎を、理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	ブランド戦略の基本的な仕組みを他のブランドとの比較も含めて説明できる。
【思考・判断・創造】	ケーススタディーを通して、仕事の場面におけるブランド戦略をイメージできる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について)				

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートの提出と最後の総合テストの総合評価による。
発表・その他 (無形成果)	出席状況、受講態度(質問への積極的解答)、演習への積極的参画